

## ご存知ですか？ 災害救助用包装食袋 ～災害時の炊き出し支援～



日本赤十字社

日本赤十字社富士見町分区 富士見町赤十字奉仕団（住民福祉課社会福祉係 ☎62-9144）

災害が起こり、避難所への避難が必要となったとき、食べ物を自分一人で用意することはできません。そんなときの食料支援が炊き出しです。また、この炊き出しは、ただ食べ物を供給するだけではありません。避難所での生活は、不安がいっぱいで、気が張り詰めた状態です。そんなときに温かいおにぎりやお味噌汁を口にしたときのホッとした気持ちが、皆さんに安心感を与えてくれます。

日本赤十字社では、「災害救助用包装食袋」を使った炊き出しを行っています。

### ●災害救助用包装食袋の特徴

- 災害時に最小限の材料で炊き出しができる
- 保存期間が長い
- 持ち運びに便利で、どこでも食べられる
- 食器や箸を使わずに食べられる



ライフラインが使えなくなったときに有効です。  
おにぎり、炊き込みご飯のほか、蒸しパン、カレーなどのレシピもあります。

### 富士見町生活展

#### ～炊き出し、AED、心肺蘇生法の体験～

【日 時】 11月11日(日)  
午前9時30分～午後1時

【場 所】 町民センター

【内 容】 ・災害救助用包装食袋を使った炊き出し体験

・AED、心肺蘇生法の体験

※赤十字奉仕団のブースで体験できます。

皆さまのご来場をお待ちしています。



## 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

### 「18歳成人化」

成人年齢を18歳に引き上げる民法改正案が6月13日の参議院本会議で可決、2022年4月1日に施行されることにより、成人年齢は18歳となります。140年ぶりに成人の定義が変わります。

先日、長野県教育委員会主催の高校生が集まるある会でこの事が話題として取り上げられ、高校生が当事者として18歳で成人（大人扱い）となることに対し、どう感じるか、何がかわるかをディスカッションしていました。

今回の法改正で、18・19歳でも親の同意なしでクレジットカードやローンの契約などが可能となることなどから、

「自由になる」「親の許可なく高額の買い物ができる」という声があった反面、「自由になるということは責任も自分でとることになる」と深い理解を示す意見もありました。

また、高校生のうちに成人になるということに戸惑いを感じたり、自分は大人と言えるほどいろんな経験を積んでいないから、と不安を感じる高校生もいました。高校生たちが感じている戸惑いや不安は、まさにこの政策が乗り越えなければならない課題です。それは、政治家だけが考えるのではなく、地域社会全体で、今育っている子どもたち、これから生まれてくる子どもたちが「18年で自立の年を迎える」ということをしっかりと考え、必要な環境やネットワークを再構築しなければいけないということだと思います。



▲小さな時から、たくさん歩いたり、いろんなことにチャレンジすることで子どもたちの地力が育まれます。

子どもが高校生のうちに成人すると想像すると、幼少期、児童期、思春期、とそれぞれの成長過程で子どもが体験するべきことが、今以上にあるように感じます。ふじみ子育てネットワークでも、軸である「子どもが主体的に関わる」ことを守りながら、事業のブラッシュアップ（磨きをかけること）を図りたいと考えます。